

テスト実行時のエラーの対処方法

Testablishでテストコードを出力して実行すると、何らかの原因でテストの実行が失敗することがあります。実行失敗の原因を探るために、テスト実行ログを確認してみてください。

テスト実行時のログファイルには以下の2種類があります。

- **テストサマリアイル** : gradle (テストプログラムを実行するミドルウェア) が生成
- **実行ログファイル** : Testablish が生成

【目次】

1. [ログの所在](#)
 2. [ログの確認](#) よくある失敗の例とそのエラーログ
 - 2.1 [ブラウザが起動し、画面が自動操作されて終了したにもかかわらず失敗する場合](#)
 - 2.1.1 [アサーションエラー](#)
 - 2.1.2 [外部コマンド実行時のエラー](#)
 - 2.2 [ブラウザは起動したが、画面が表示されずに終了して失敗する場合](#)
 - 2.2.1 [testablish-test.ini ファイル内の BaseURL 設定](#)
 - 2.2.2 [testablish-test.ini ファイル内の addingUrl 設定](#)
 - 2.2.3 [testablish-test.ini ファイル内の プロキシ 設定](#)
 - 2.2.4 [テスト対象アプリが起動していない](#)
 - 2.2.5 [ブラウザの拡大率が100%になっていない\(IE\)](#)
 - 2.3 [ブラウザは起動すらしないで失敗する場合](#)
 - 2.3.1 [testablish-test.ini ファイルがない](#)
 - 2.3.2 [testablish-test.ini ファイル内の WebDriverの設定](#)
 - 2.3.3 [testablish-test.ini ファイル内の ブラウザ指定](#)
 - 2.3.4 [IEのセキュリティ設定で、すべてのゾーンの保護モードが同じでない\(IE\)](#)
 - [Appendix](#)
 - [InitializationError](#)
 - [ParameterizedAssertionError](#)
-

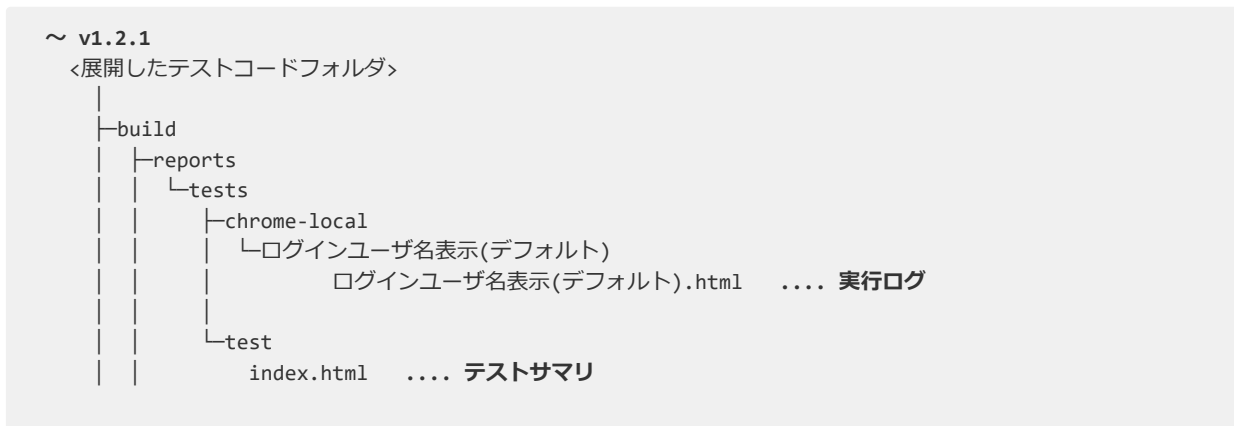
1. ログの所在

テストサマリファイルと実行ログが生成される場所は Testablish のバージョンによって異なります。

- ~v1.2.1

<展開したテストコードフォルダ>/build/reports/tests/ 以下

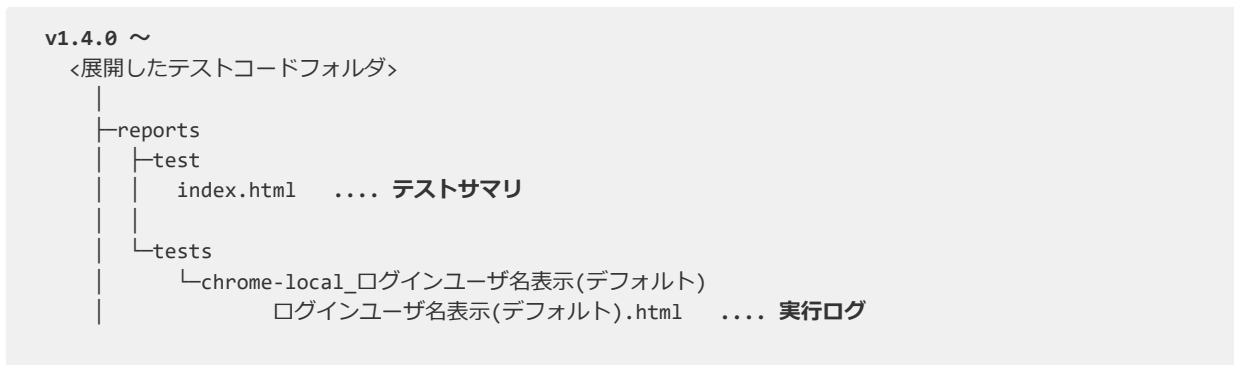
1. **テストサマリファイル** : test/index.html
2. **実行ログファイル**<iniファイルのセクション名>/<テスト名(パターン名)>/<テスト名(パターン名)>.html



- v1.4.0~

<展開したテストコードフォルダ>/reports/ 以下

1. **テストサマリファイル** : test/index.html
2. **実行ログファイル** : tests/<iniファイルのセクション名>_<テスト名(パターン名)>/<テスト名(パターン名)>.html



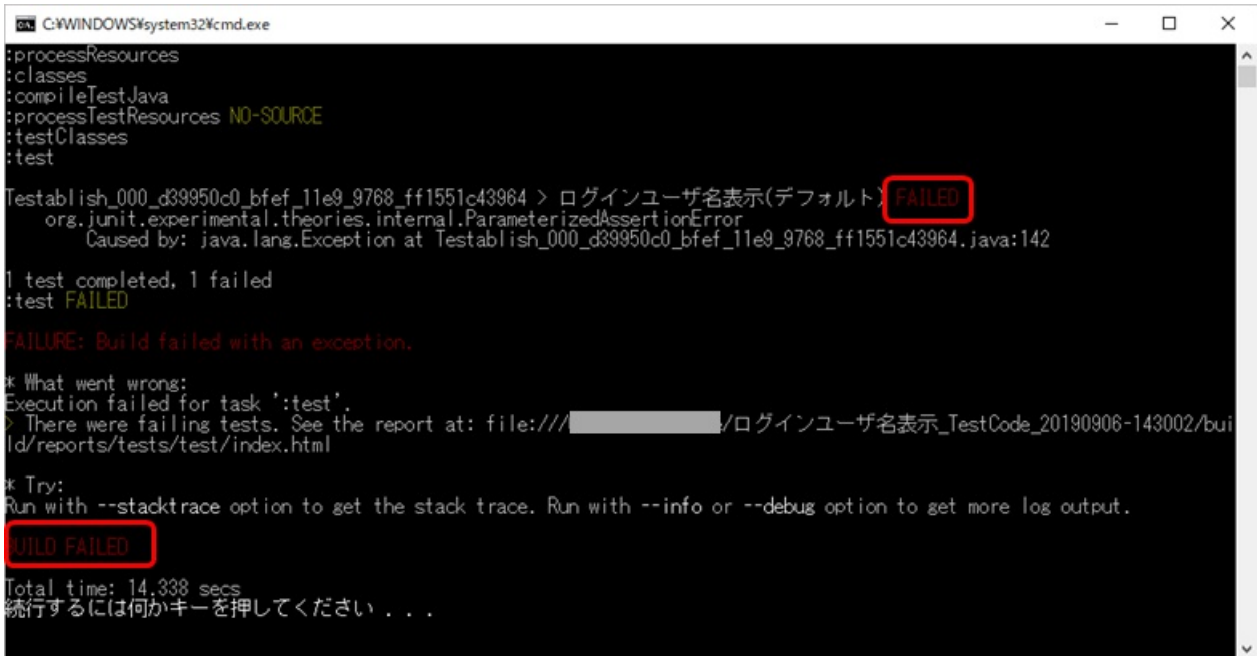
1. **テストサマリファイル** : <テスト名(パターン名)>のリンクから、詳細のログを表示することができます。
2. **実行ログファイル** : 実際のテストステップ(画面)とシーケンス毎の**実行結果のログ**です。

テスト実行が成功すると、上記の 1,2 の両方のログが生成されます。

失敗した場合は、失敗の状況によって **2 の実行結果ログが生成されない場合もあります**。

2. ログの確認

テストコードを実行した後、コマンドプロンプトで **FAILED** の表示が出る場合があります。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
:processResources
:classes
:compileTestJava
:processTestResources NO-SOURCE
:testClasses
:test
Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964 > ログインユーザ名表示(デフォルト) FAILED
  org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError
    Caused by: java.lang.Exception at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:142

1 test completed, 1 failed
:test FAILED

FAILURE: Build failed with an exception.

* What went wrong:
Execution failed for task ':test'.
> There were failing tests. See the report at: file:///.../ログインユーザ名表示_TestCode_20190906-143002/build/reports/tests/test/index.html

* Try:
Run with --stacktrace option to get the stack trace. Run with --info or --debug option to get more log output.

BUILD FAILED

Total time: 14.338 secs
続行するには何かキーを押してください...
```

Fig.2-1 実行 FAILED

コマンドプロンプトで **FAILED** の表示が出る状況は様々です。

- [2.1 ブラウザが起動し、画面が自動操作されて終了したにもかかわらず失敗する場合](#)
- [2.2 ブラウザは起動したが、画面が表示されずに終了して失敗する場合](#)
- [2.3 ブラウザは起動すらしないで失敗する場合](#)

原因も様々なものがあります。

以下によくあるエラーの状況と原因を例示します。

2.1 ブラウザが起動し、画面が自動操作されて終了したにもかかわらず失敗する場合

ブラウザが起動していれば、多くの場合、実行ログが生成されています。

まずは、**実行ログ**を確認してみてください。

ある程度、画面の自動操作が行われたのであれば、テストの途中でNGになっていることが考えられます。

以下にいくつか例を示します。

テストのステップ内で 状態が NG のものがあれば、その箇所が原因です。

以下では、よくある失敗の例と、その時の **実行ログ** および テストサマリファイルからリンクされている**詳細ログ**を確認していきます。

2.1.1 アサーションエラー

アサーションに失敗している例です。

実行ログでアサーションのテキスト一致 (text-equal) のシーケンスで失敗していることが確認できます。

ログインユーザ名表示(デフォルト)テスト結果						失敗	テスト開始日時: 2019/09/06 14:35:05	画像サイズ [10] %		
ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	/login	1		open	OK		["/login"]	[/login]	2019/09/06 14:35:09.894	
2	/login	1	Page Load	load	OK				2019/09/06 14:35:12.081	
2	/login	2	ユーザID	change	OK		["admin"]	[admin]	2019/09/06 14:35:12.082	
2	/login	3	#inputPassword	change	OK		["1"]	[1]	2019/09/06 14:35:13.231	
2	/login	4	#loginForm > button	click	OK				2019/09/06 14:35:14.349	
4	/contents	1	Page Load	load	OK				2019/09/06 14:35:15.708	
4	/contents	2	ユーザ名表示	text-equal	NG	検証値は "hogehoge"、表示された値は "admin"	["hogehoge"]	[hogehoge]	2019/09/06 14:35:15.708	

Fig.2.1.1-1 実行ログ : アサーションNG

テストサマリファイル (index.html) からリンクされている詳細画面を開くと、エラーログが確認できます。大量のエラー行が表示されていますが、その中で ” **Caused by:...** ” という行を確認してみてください。

Test Summary

1 tests, 1 failures, 0 ignored, 11.671s duration

0% successful

Failed tests: Testestablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964. ログインユーザ名表示(デフォルト)

Generated by Gradle 3.5 at 2019/09/06 14:35:17

クリックで詳細画面表示

Fig.2.1.1-2 テストサマリファイル

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" )
: (省略)
Caused by: java.lang.Exception: java.lang.AssertionError: assertion
Expected: is "hogehoge"
but: was "admin"
: (省略)
```

2.1.2 外部コマンド実行時のエラー

下図の例では、コマンド実行(command)のシーケンスで例外が発生しています。

正常ログイン(デフォルト)テスト結果						失敗	テスト開始日時: 2019/09/06 18:12:14	画像サイズ [10] %		
ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	/	1		open	OK		["/"]	[/]	2019/09/06 18:12:18.302	
2	/	1	Page Load	load	OK				2019/09/06 18:12:19.972	
2	/	2	ファイルバックアップ	command	NG	例外が発生しました。	["textfile.txt"]	[textfile.txt]	2019/09/06 18:12:19.973	

Fig.2.1.2 コマンド実行NG

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
```

```
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" )
```

```
: (省略)
```

```
Caused by: java.lang.Exception: java.io.IOException : Cannot run program "fileCopy.bat" (in directory "."): 
```

```
CreateProcess error=2, 指定されたファイルが見つかりません。
```

上記の例では、コマンド実行時 in directory "."(<展開したテストコードフォルダ>直下) に 外部コマンドの実行ファイル (fileCopy.bat) を配置していなかったためにエラーになっています。

2.2 ブラウザは起動したが、画面が表示されずに終了して失敗する場合

テスト実行時に一旦ブラウザが起動したのであれば、多くの場合、実行ログが生成されています。まずは、実行ログファイルを確認してみてください。


実行ログファイルで原因がつかめなかったり、実行ログファイルが生成されていない場合は、テストサマリファイル(index.html)からリンクされている詳細画面を開くと、エラーログが確認できます。大量のエラー行が表示されていますが、その中で” **Caused by:...**” という行を確認してみてください。 ” **Caused by:...**” という行のあたりに失敗の原因となっているメッセージを見ることができます。

2.2.1 testablish-test.ini ファイル内の BaseURL 設定

下記の例は、testablish-test.ini ファイル内の記述で、 **baseUrl** の設定がされていない場合のエラー状況です。

baseUrl はテストを実行するアプリケーションの基底となる URL を設定する項目です。テストで使われるページの URL は 先頭に **baseUrl** に設定されている文字列が付加されて実行されます。

実行ログファイルを確認してみます。最初の画面 (/login) を開こうとして例外が発生しています。



ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	/login	1		open	NG	例外が発生しました。	["/login"]	[/login]	2019/09/05 13:46:38.328	

Fig.2.2.1 openNG

この例のエラーログは以下のようになっています。

url が null/login となっていることから、 baseUrl が指定されていないことが推測されます。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.Exception: org.openqa.selenium.WebDriverException: unknown error: unhandled inspector
error: {"code":-32000,"message":"Cannot navigate to invalid URL"}
(Session info: chrome=76.0.3809.132)
(Driver info: chromedriver=2.42.591088 (7b2b2dca23cca0862f674758c9a3933e685c27d5),platform=Windows NT
10.0.17134 x86_64) (WARNING: The server did not provide any stacktrace information)
Command duration or timeout: 0 milliseconds
Build info: version: '3.8.1', revision: '6e95a6684b', time: '2017-12-01T18:33:54.468Z'
: (省略)
Driver info: org.openqa.selenium.chrome.ChromeDriver
selenide.url: null/login
: (省略)
```

2.2.2 testablish-test.ini ファイル内の addingUrl 設定

下記の例は、testablish-test.ini ファイル内の記述で、 **addingUrl** の設定に不備がある場合のエラー状況です。 iniファイル内で、以下のように設定されています。

addingUrl=/hoge

addingUrl は URLの末尾に常に追加される文字列を設定する項目です。

テストで使われるページのURLの末尾に**addingUrl**に設定されている文字列が付加されて実行されます。

実行ログファイルを確認してみます。最初の画面 (/login) を開き、その画面で 値変更(change) アクションで変更対象の対象名がないというエラーになっています。

ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	/login	1		open	OK		[/login]	[/login]	2019/09/06 16:43:25.475	
2	/login	1	Page Load	load	OK				2019/09/06 16:43:27.083	
2	/login	2	ユーザID	change	NG	指定する対象名は存在しません。	["admin"]	[admin]	2019/09/06 16:43:27.084	

Fig.2.2.2 対象名は存在しません

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.Exception: Element not found {#inputUsername}.
: (省略)
Caused by: NoSuchElementException: no such element: Unable to locate element: {"method":"css
selector","selector":"#inputUsername"}
```

Caused by: の行を見てみると、#inputUsername というセレクトタがない、となっています。

/login 画面には #inputUsername は存在しますので、違う画面を開いているのではないかとことも考えられます。

実際には、addingUrl=/hoge という設定のために 'hoge' という文字列が末尾に付加され、/login/hoge というページを開こうとし、そこには #inputUsername という要素がないため エラーになっていた、ということになります。

2.2.3 testablish-test.ini ファイル内のプロキシ 設定

下記の例は、testablish-test.ini ファイル内の記述で、**Proxy 設定**に不備がある場合のエラー状況です。

自動テスト実行時に以下のような表示が出て、サイトにアクセスできないことがあります。

- ~のサーバの IPアドレスが見つかりませんでした。
- ~のウェブページは一時的に停止しているか、新しいウェブアドレスに移動した可能性があります。



Fig.2.2.3-1 このサイトにアクセスできません

テストを実施するネット環境でプロキシを利用している場合、testestablish-test.ini ファイル内のhttpProxy および httpsProxy が正しく設定されているかを確認してください。

httpProxy および httpsProxy は、iniファイル内で <プロキシのアドレス>:<ポート番号> の形式で設定します。

```
httpProxy=proxy.sample.com:80
httpsProxy=proxy.sample.com:80
```

実行ログでは、最初の画面をロードして操作しようとしていますが、サーバからエラー画面が返されているため、エラー画面には操作する対象 (ログインID) がなく NG となっています。

ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	ログイン	1		open	OK		[/admin/login]	[/admin/login]	2019/09/05 14:41:05.375	
2	ログイン	1	Page Load	load	OK				2019/09/05 14:41:07.365	
2	ログイン	2	ログインID	click	NG	指定する対象名は存在しません。			2019/09/05 14:41:08.091	

Fig.2.2.3-2 指定する対象名は存在しません

この例のエラーログは以下のようになっています。

実行ログと同様に操作する対象 (ログインID)が見つからない、というエラーになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.Exception: Element not found {#login_id}.
Expected: exist
: (省略)
```

2.2.4 テスト対象アプリが起動していない

下記の例は、**テスト対象のウェブアプリが動いていない場合**のエラー状況です。

自動テスト実行時に以下のような表示が出て、サイトにアクセスできないことがあります。

- ~で接続が拒否されました。



Fig.2.2.4-1 接続が拒否されました

このような場合は、**テスト対象のアプリケーションが起動しているかどうか**を確認してください。

実行ログでは、最初の画面をロードして操作しようとしています。サーバからエラー画面が返されているため、エラー画面には操作する対象 (ユーザID) がなく、NG となっています。

ログインユーザ名表示(デフォルト)テスト結果						失敗	テスト開始日時: 2019/09/06 16:55:45	画像サイズ 10 ▾ %		
ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
1	/login	1		open	OK		["/login"]	[/login]	2019/09/06 16:55:49.470	
2	/login	1	Page Load	load	OK				2019/09/06 16:55:52.628	
2	/login	2	ユーザID	change	NG	指定する対象名は存在しません。	["admin"]	[admin]	2019/09/06 16:55:52.628	

Fig.2.2.4-2 指定する対象名は存在しません

この例のエラーログは以下のようにになっています。

実行ログと同様に操作する対象 (ログインID)が見つからない、というエラーになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.Exception: Element not found {#login id}
Expected: exist
: (省略)
```

2.2.5 ブラウザの拡大率が100%になっていない(IE)

下記は 自動テスト実行ブラウザが IE で、ブラウザ画面の**拡大率が100%になっていない**ときに起ったエラーです。

実行ログを見てみると、最初の画面がロードされた様子はありません。

ログインユーザ名表示(デフォルト)テスト結果

失敗

テスト開始日時:
 2019/09/09
 13:32:28

画像
 サイ
 ズ
 10 ▾
 %

ステップ	画面名	シーケンス	ターゲット	アクション	状態	エラー	設定値	入力値	実行日時	画面
------	-----	-------	-------	-------	----	-----	-----	-----	------	----

Fig.2.2.5-1 実行ログなし

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError: auto("TestablishCapabilities{name='ie-local', browser='ie', version='null', platform='null'}" <from getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.IllegalArgumentException: org.openqa.selenium.SessionNotCreatedException: Unexpected error launching Internet Explorer. Browser zoom level was set to 50%. It should be set to 100%
: (省略)
```

Caused by: の行で、'Browser zoom level was set to 50%. It should be set to 100%' となっており、ブラウザの拡大表示が100% になっていない(例では50%) ことが原因です。
 テスト実行対象のブラウザとしてIEを利用する場合は、**拡大率を必ず100%に設定**しておいてください。

2.3 ブラウザは起動すらしないで失敗する場合

自動テスト実行時に、ブラウザが起動せずに FAILED になってしまった場合、実行ログは生成されていないことが多いため、テストサマリファイルから詳細を表示し、エラーログを確認します。

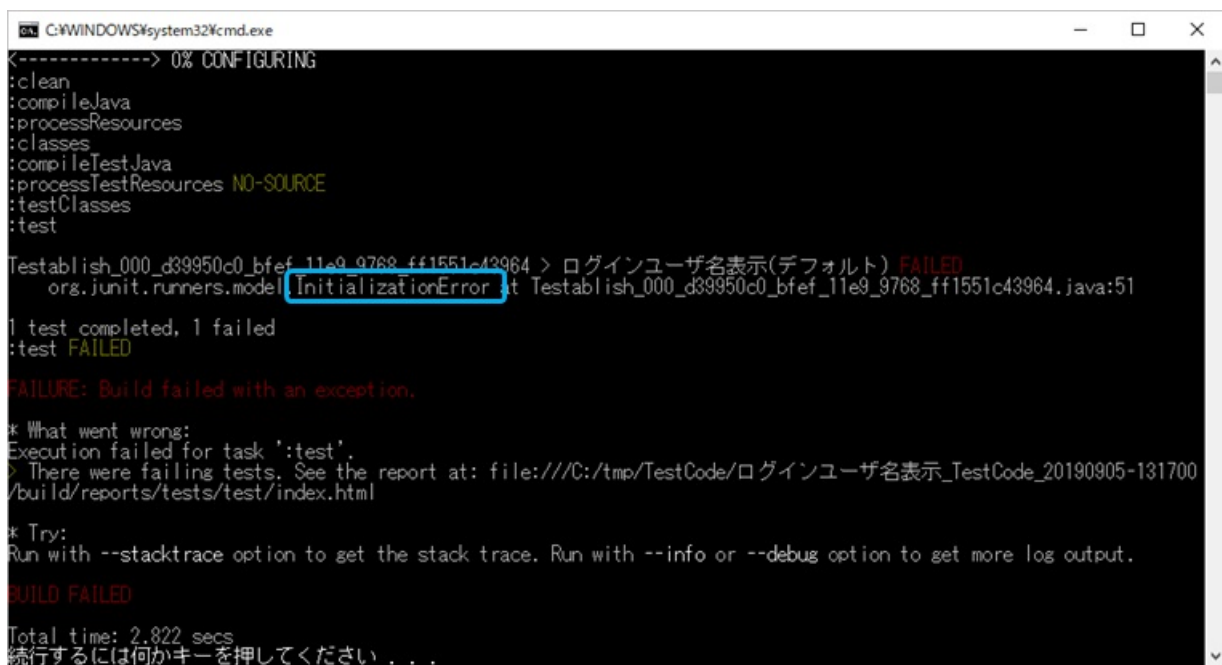
- [2.3.1 testablish-test.ini ファイルがない](#)
- [2.3.2 testablish-test.ini ファイル内の WebDriverの設定](#)
- [2.3.3 testablish-test.ini ファイル内の ブラウザ指定](#)
- [2.3.4 IEのセキュリティ設定で、すべてのゾーンの保護モードが同じでない\(IE\)](#)

2.3.1 testablish-test.ini ファイルがない

下記の例は、**testablish-test.ini** ファイルが読み込めなかった場合のエラー状況です。

ブラウザの起動もできなかったため、**実行ログ**は生成されていません。

この例では、コマンドプロンプトで表示されているエラーに `InitializationError` が出ています。



```
EX C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
<-----> 0% CONFIGURING
:clean
:compileJava
:processResources
:classes
:compileTestJava
:processTestResources NO-SOURCE
:testClasses
:test

Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964 > ログインユーザ名表示(デフォルト) FAILED
org.junit.runners.model.InitializationError: Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:51

1 test completed, 1 failed
:test FAILED

FAILURE: Build failed with an exception.

* What went wrong:
Execution failed for task ':test'.
> There were failing tests. See the report at: file:///C:/tmp/TestCode/ログインユーザ名表示_TestCode_20190905-131700/build/reports/tests/test/index.html

* Try:
Run with --stacktrace option to get the stack trace. Run with --info or --debug option to get more log output.

BUILD FAILED

Total time: 2.822 secs
続行するには何かキーを押してください . . .
```

Fig.2.3.1 InitializationError

この例のエラーログは以下のようになっています。

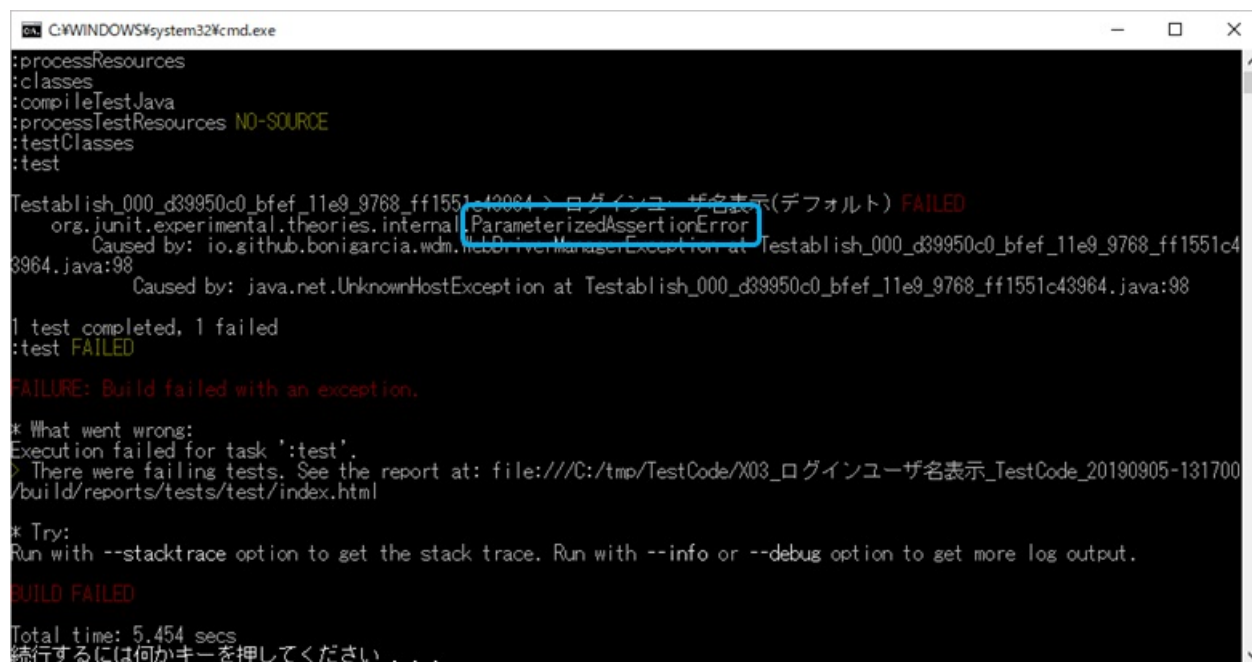
```
org.junit.runners.model.InitializationError
: (省略)
```

このような場合は、まず `testablish-test.ini` ファイルが正しい位置に配置されているか確認してください。実行したテストバッチファイル (`run-test.bat`) は、**同じ階層**か、または**一つ上の階層**にある `ini` ファイル (`testablish-test.ini`) を読み込みます。

2.3.2 testablish-test.ini ファイル内の WebDriverの設定

以下の例は、testablish-test.ini ファイル内で **env.webdriver.chrome.driver** 行を削除して実行した際のエラーです。

実行時の コマンドプロンプトに表示された ParameterizedAssertionError というエラーはさまざまな状況で表示されるため、このエラーだけでは原因を推測できません。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
:processResources
:classes
:compileTestJava
:processTestResources NO-SOURCE
:testClasses
:test
Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964 > ログインユーザ名表示(デフォルト) FAILED
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError
Caused by: io.github.bonigarcia.wdm.WebDriverManagerException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98
Caused by: java.net.UnknownHostException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98
1 test completed, 1 failed
:test FAILED
FAILURE: Build failed with an exception.

* What went wrong:
Execution failed for task ':test'.
> There were failing tests. See the report at: file:///C:/tmp/TestCode/X03_ログインユーザ名表示_TestCode_20190905-131700/build/reports/tests/test/index.html

* Try:
Run with --stacktrace option to get the stack trace. Run with --info or --debug option to get more log output.

BUILD FAILED
Total time: 5.454 secs
続行するには何かキーを押してください . . .
```

Fig.2.3.2 ParameterizedAssertionError

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='chrome', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: io.github.bonigarcia.wdm.WebDriverManagerException: java.net.UnknownHostException:
chromedriver.storage.googleapis.com
: (省略)
```

Caused by: の行を見てみると、WebDriverManagerException という例外が出ています。

ini ファイルの設定の WebDriver に関する設定について 例えば、以下の点を確認してみてください。

- ? テスト実施ブラウザに対応した webdriver が用意されているか
- ? env.webdriver.<ブラウザ種類>.driver が設定されているか
- ? env.webdriver.<ブラウザ種類>.driver がコメントアウトされていないか
- ? env.webdriver.<ブラウザ種類>.driver に指定されているパスが間違っていないか

2.3.3 testablish-test.ini ファイル内のブラウザ指定

以下の例は、testablish-test.ini ファイル内の **browser.name** 行をコメントアウトして実行した際のエラーです。

実行時の コマンドプロンプトに表示された ParameterizedAssertionError というエラーはさまざまな状況で表示されるため、このエラーだけでは原因を推測できません。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
:processResources
:classes
:compileTestJava
:processTestResources NO-SOURCE
:testClasses
:test

Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964 > ログインユーザ名表示(デフォルト) FAILED
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError
Caused by: io.github.bonigarcia.wdm.WebDriverException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98
Caused by: java.net.UnknownHostException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98

1 test completed, 1 failed
:test FAILED

FAILURE: Build failed with an exception.

* What went wrong:
Execution failed for task ':test'.
> There were failing tests. See the report at: file:///C:/tmp/TestCode/X03_ログインユーザ名表示_TestCode_20190905-131700/build/reports/tests/test/index.html

* Try:
Run with --stacktrace option to get the stack trace. Run with --info or --debug option to get more log output.

BUILD FAILED

Total time: 5.454 secs
続行するには何かキーを押してください . . .
```

Fig.2.3.3 ParameterizedAssertionError

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError:
auto("TestablishCapabilities{name='chrome-local', browser='null', version='null', platform='null'}" <from
getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.NullPointerException
: (省略)
```

Caused by: の行では NullPointerException となっており、原因の推測は困難ですが、ログの1行目に browser='null' という記述があります。

ここでブラウザ名が指定されていないことが分かります。

ini ファイルの設定 の browser.name 行の設定を確認してみてください。

2.3.4 IEのセキュリティ設定で、すべてのゾーンの保護モードが同じでない (IE)

以下の例は、自動テスト実行ブラウザが IE で、IE でのセキュリティ設定に不備があった場合のエラーです。

実行時の コマンドプロンプトに表示された ParameterizedAssertionError というエラーはさまざまな状況で表示されるため、このエラーだけでは原因を推測できません。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
:processResources
:classes
:compileTestJava
:processTestResources NO-SOURCE
:testClasses
:test
Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964 > ログインユーザ名表示(デフォルト) FAILED
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError
Caused by: io.github.bonigarcia.wdm.WebDriverException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98
Caused by: java.net.UnknownHostException at Testablish_000_d39950c0_bfef_11e9_9768_ff1551c43964.java:98
1 test completed, 1 failed
:test FAILED
FAILURE: Build failed with an exception.

* What went wrong:
Execution failed for task ':test'.
> There were failing tests. See the report at: file:///C:/tmp/TestCode/X03_ログインユーザ名表示_TestCode_20190905-131700/build/reports/tests/test/index.html

* Try:
Run with --stacktrace option to get the stack trace. Run with --info or --debug option to get more log output.

BUILD FAILED
Total time: 5.454 secs
続行するには何かキーを押してください . . .
```

Fig.2.3.4-1 ParameterizedAssertionError

この例のエラーログは以下のようになっています。

```
org.junit.experimental.theories.internal.ParameterizedAssertionError: auto("TestablishCapabilities{name='ie-local', browser='ie', version='null', platform='null'}" <from getParameters[0]>)
: (省略)
Caused by: java.lang.IllegalArgumentException: org.openqa.selenium.SessionNotCreatedException: Unexpected error launching Internet Explorer. Protected Mode settings are not the same for all zones. Enable Protected Mode must be set to the same value (enabled or disabled) for all zones.
: (省略)
```

「Internet Explorerの起動時に予期しないエラーが発生しました。保護モードの設定は、すべてのゾーンで同じではありません。[保護モードを有効にする]は、すべてのゾーンで同じ値（有効または無効）に設定する必要があります。」となっています。

この「保護モードを有効にする」を設定するには、Internet Explorer の ツール メニュー > インターネットオプション を選択し、表示されるダイアログの セキュリティ タブを開きます。

すべてのゾーン（インターネット、ローカルイントラネット、信頼済みサイト、制限つきサイト）の「保護モードを有効にする」にチェックが入っているか確認し、**すべてにチェックをつけてください**。

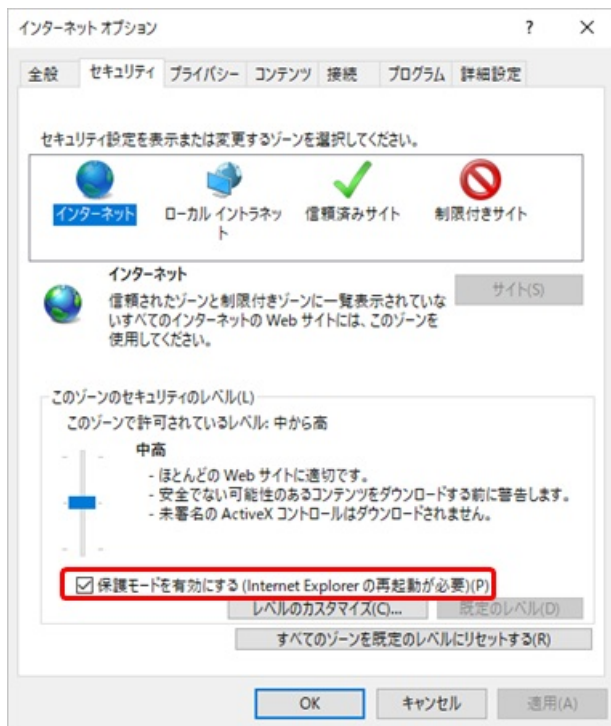


Fig.2.3.4-2 インターネットオプション > セキュリティ > 保護モードを有効にする

Appendix

InitializationError

テスト実行時の コマンドプロンプトに表示される Error : **InitializationError**
エラーログの "CausedBy:..." 行に出現している Exception :

- なし
 - 2.3.1 [testablish-test.ini ファイルがない](#)

ParameterizedAssertionError

テスト実行時の コマンドプロンプトに表示される Error : **ParameterizedAssertionError**
エラーログの "CausedBy:..." 行に出現している Exception :

- NullPointerException
 - 2.3.3 [testablish-test.ini ファイル内の ブラウザ指定](#)
- WebDriverManagerException , UnknownHostException
 - 2.3.2 [testablish-test.ini ファイル内の WebDriverの設定](#)
- Exception , IOException
 - 2.1.2 [外部コマンド実行時のエラー](#)
- Exception , WebDriverException
 - 2.2.1 [testablish-test.ini ファイル内の BaseURL 設定](#)
- Exception
 - 2.1.1 [アサーションエラー](#)
 - 2.2.2 [testablish-test.ini ファイル内の addingUrl 設定](#)
 - 2.2.3 [testablish-test.ini ファイル内の プロキシ 設定](#)
 - 2.2.4 [テスト対象アプリが起動していない](#)
- IllegalArgumentException , SessionNotCreatedException
 - 2.2.5 [ブラウザの拡大率が100%になっていない\(IE\).](#)
 - 2.3.4 [IEのセキュリティ設定で、すべてのゾーンの保護モードが同じでない\(IE\).](#)

[TOP](#) に戻る

対応Ver : v1.0.0 ~
作成日 : 2019-09-10
更新日 : 2019-09-12